

## 海外安全対策情報（2026年4月～6月）

- ビクトリア州・南オーストラリア州・タスマニア州当局から公表されている犯罪統計データ及び当館が把握している事件・事故を基に作成した当地の安全対策情報（2026年4月～6月）をお知らせします。
- 犯罪被害に遭わないため、十分な安全対策を講じるとともに、万が一被害に遭われた場合には、速やかに警察に被害届を提出するとともに、当館への情報提供をお願いします。

### 1 2026年6月までに日本人が巻き込まれた主な犯罪被害（当館把握分）

#### （1）ビクトリア州

- ・メルボルン CBD 内で自動車を路上駐車していたところ、窓ガラスを割られ車内にあった貴重品の入った鞆を盗まれた。
- ・メルボルン CBD 内の公園付近で喫煙していたところ、男性が近づいてきてたばこが欲しいという申し出があったのでこれを断ったところ、突然暴行を加えられた。
- ・住居の契約において、家主等にボンドと家賃を支払ったものの、先方からの連絡が途絶え詐欺被害に遭った。
- ・メルボルン近郊の競馬場でレジャーシートに鞆を置いてほんの数分離席したところ、鞆を盗まれた。

#### （2）南オーストラリア州

- ・アデレード CBD 内の講演会場で鞆を置いてほんの数分離席したところ、鞆を盗まれた。

#### （3）タスマニア州

- ・日本人の犯罪被害は報告されていません。

### 2 一般犯罪情勢

#### （1）ビクトリア州の犯罪統計（2025年4月～2026年3月）

- ・ビクトリア州犯罪統計局が発表した2026年3月までの12ヶ月の犯罪総件数は 625,426件（前年同時期比 1,524件減、0.2%減）、犯罪率は人口10万人当たり 8,690.8件（1.9%減）でした。僅かに減少していますが、過去3年間で犯罪総件数は26%増加しています。自動車盗難は 31,851台 と高水準で、車上ねらいも 80,786件 で注意が必要です。
- ・犯罪統計上の主な動向と留意点は以下のとおりです。

項目	犯罪統計上の動向	留意点
州全体の犯罪動向	2026年3月期までの12ヶ月間の犯罪総件数は625,426件（前年比1,524件減、0.2%減）。犯罪率は人口10万人当たり8,690.8件（1.9%減）。犯罪発生件数（criminal	全体としては微減していますが、犯罪水準は依然として高く、件数の増減だけでなく、ご自身の生活圈・通勤通学・旅行動線に関係しやすい犯罪を個別

	incidents) は 468,711 件 (4,807 件減、1.0%減)。	に見ることが重要です。
車両犯罪・窃盗	自動車盗は 31,851 台 (前年比 1%増) で、2001-02 年以來の高水準。車上ねらいは 80,786 件 (2%減)。自動車盗の約 40%について、キー模倣・クローン技術等が用いられている可能性がある。	車内荷物放置、無施錠、路上駐車、鍵・ナンバープレート管理に注意が必要です。
若年層による重大犯罪	10~17 歳による犯罪加害は 6%減少した一方、強盗の 60%、車両強盗の 55%、住居侵入の 49%、加重侵入の 48%に若年層が関与しています。	夜間の CBD、駅周辺、商業施設、駐車場では、集団とのトラブルや偶発的な接触を避け、異変を感じたらその場を離れることが重要です。
家庭内暴力関連	家庭内暴力に関する命令違反は 86,227 件 (6%増) です。	家庭内の問題であっても、警察通報、医療、支援機関等に繋がります。身の危険を感じる場合は早期相談が重要です。
メルボルン CBD を含む都市部	メルボルン CBD を含む都市部では、夜間・週末の飲食店周辺、駅周辺、商業施設、立体駐車場等での被害・トラブルには引き続き注意が必要です。	留学生、駐在員、旅行者の皆様が利用する場所と重なりますので、時間帯、帰宅手段、周囲の状況を確認することが重要です。

## (2) 南オーストラリア州の犯罪統計 (2025年4月~2026年3月)

・南オーストラリア州警察が発表した 2026 年 3 月の累計統計 (2025 年 4 月~2026 年 3 月) では、警察官への暴行 748 件 (前年比 22%増)、強盗 447 件 (11%減)、住宅侵入 5,541 件 (5%減)、車両関連犯罪 11,330 件 (1%増) が発生しています。

・犯罪統計上の主な動向と留意点は以下のとおりです。

項目	犯罪統計上の動向	留意点
対人・対物犯罪総数	総数は前年から減少傾向。強盗、住宅侵入、非住宅侵入、小売窃盗等で減少が確認されています。	対人、車両、詐欺、家庭内暴力、夜間外出時のリスクを個別に見ることが重要です。
警察官に対する暴行	警察官への暴行は 615 件から 748 件へ、133 件増加しています。	酔客、乱闘、警察活動中の現場には近づかない。警察官や救急関係者が対応している場所では距離を取る。

強盗	強盗は 501 件から 447 件へ減少。強盗・恐喝等全体では 749 件から 650 件へ減少している。	CBD・夜間・人通りの少ない場所では注意が必要です。貴重品を見せない、酔客・口論を避けて下さい。
住宅侵入	住宅侵入は 5,827 件から 5,541 件へ減少している。非住宅侵入は 3,485 件から 3,350 件へ減少している。	留学生、単身者、シェアハウスでは施錠、鍵管理、郵便物・荷物管理、夜間帰宅時の周囲確認が重要です。
自動車盗等の車両関連犯罪	自動車盗等の車両関連犯罪は 11,265 件から 11,330 件へ増加している。	買物、観光、ビーチ、郊外駐車時の荷物放置を避ける。レンタカー利用時は保険と事故時連絡先を確認する。
家庭内暴力・親密な関係における暴力	家庭内暴力及び同暴力関連犯罪は高水準であり、Operation Storm 等の集中的取締りも継続しています。	危険を感じる場合は、警察・支援機関への早期相談が重要です。英語で説明が難しい場合は通訳が必要であることを伝える。

### (3) タスマニア州の犯罪統計 (2025年4月～2026年3月)

・タスマニア州警察が発表した「March 2026 Corporate Performance Report」では、総犯罪件数が 33,190 件、公共の場での暴行事件 1,146 件、家庭内暴力事案 5,322 件、車両盗難事案 1,288 件です。

・犯罪統計上の主な動向と留意点は以下のとおりです。

項目	犯罪統計上の主な動向	留意点
公共の場における暴行犯罪	March 2026 Corporate Performance Report では、公共の場における暴行犯罪が州全体で 1,146 件、うち Hobart154 件、Launceston 235 件が記録されています。	観光・夜間外出・CBD 利用時の突発的なトラブルに注意する。酔客、口論、警察対応中の現場から距離を取る。
対人犯罪	対人犯罪は州全体で 6,692 件。発生場所として、住宅 2,626 件、道路・歩道 988 件、小売 496 件等が確認されています。	住居・路上・店舗での口論やトラブルを避け、異変を感じたら距離を取る。夜間の単独行動や飲酒後の移動に注意する。
警察出動事案	警察出動事案総数は 121,395 件 (前年同期比 929 件増)。警察による実動対応事案は 111,529 件 (179 件増)。	地方では応答時間、距離、通信環境に注意。緊急時の連絡手段、現在地の説明方法、移動計画を確認する。

家庭内暴力・親密な関係における暴力	家庭内暴力事案は5,322件、家族間口論・情報提供記録は2,531件。警察による家庭内暴力命令(PFVO)違反は1,035件、家庭内暴力命令(FVO)違反は1,303件。	危険を感じる場合は、警察・支援機関への早期相談が重要です。英語で説明が難しい場合は通訳が必要であることを伝える。
交通安全・車両関連	盗難車両は1,288件、車上ねらいは1,448件。盗難車両の回収率は76.9%(934件中718件回収)。	日没、天候、野生動物、疲労運転に注意。車内に荷物を残さず、盗難時は警察・保険・レンタカー会社へ連絡する。

### 3 形態別の防犯対策

#### (1) 車両犯罪

ビクトリア州では自動車盗31,851台、車上ねらい80,786件、南オーストラリア州では車両関連犯罪が11,330件(前年比65件増、1%増)、TASでは自動車窃盗が1,288件、車上ねらいが1,448件発生しています。駐車時の荷物管理、鍵・ナンバープレート管理、レンタカー一事故時の初動確認が必要です。

##### 【自動車盗難対策】

- ・全ドアに鍵をかけて全窓を閉めることを徹底する。
- ・プッシュスタート車は施錠だけでなく、診断端子(OBDポート)用の保護器具などの不正接続防止を活用する。
- ・ハンドル固定器具を併用する。
- ・盗難防止装置を活用する。
- ・車の鍵は車内に残さず、予備鍵も見つかりにくい場所に保管する。
- ・自宅では、玄関付近など外部から見やすい場所に鍵を置かない
- ・マンション内の駐車場や鍵のかかったガレージに駐車する。

##### 【車上ねらい対策】

- ・短時間の駐車であっても、車内に現金、鞆、電子機器、書類等を残さない。
- ・マンション内の駐車場や自宅前駐車場でも安心せず、施錠と車内確認を徹底する。

##### 【ナンバープレート盗難対策】

- ・通常のねじより取り外しにくい特殊ねじ等で固定を強化する。
- ・ナンバープレート盗難時は、車両本体が盗まれていなくても速やかに警察へ届け出る。

##### 【バイク盗難対策】

- ・ハンドルロックだけに頼らず、車輪固定器具や強固な鎖で固定物と連結する。
- ・軽量車両ほど持ち去られやすいので、屋外駐車時は二重、三重の物理的対策を行う。

#### (2) 市内中心部・繁華街、夜間の安全対策

各州の市内中心部では、夜間の酔客、若年層、公共秩序、暴行、強盗、性犯罪リスクが存

在します。

- ・深夜帯の単独移動をできるだけ避ける。
- ・酔客、口論、若年グループ、警察対応中の現場から距離を取る。
- ・飲酒時は帰宅手段を先に確保する。見知らぬ相手に飲み物や荷物を預けない。
- ・トラブル時は反論・撮影・追跡を避け、早期に明るい場所、店舗、駅係員、警察へ移動する。

### (3) デモ・集会

デモ・集会は頻繁に発生しており、殆どは平穏に行われますが、対立する集団の接近、交通規制、公共交通機関の遅延、警察による群衆管理が発生する場合があります。デモや集会には不用意に近づかないことが重要です。

- ・警察、自治体、交通機関、イベント会場、報道等の情報を確認する。
- ・参加予定人数、対立集会の有無、CBD・駅・ホテル・商業施設との重なり、道路閉鎖・公共交通遅延の有無を確認する。
- ・デモや対立集会の近くでは、写真・動画撮影を控え、警察の指示に従い、移動時間に余裕を持つ。

### (4) 詐欺・オンライン犯罪

SMS 求人詐欺、偽公的機関、投資・ロマンス詐欺、銀行・配送・通信会社を装うフィッシングが発生しています。特に英語や豪州の各種制度に不慣れな方は、急な送金要求、銀行口座利用の依頼、暗号資産・ギフトカード送金、本人確認情報の提供要求に注意してください。

- ・「仕事のために口座を貸す」「荷物や送金を代行する」といった依頼は、犯罪に関与させられる危険がある。
- ・警察・政府・銀行を名乗る連絡でも、メッセージ内のリンクからではなく、公式サイトや公式電話番号から確認する。
- ・被害に気付いた場合は、銀行への即時連絡、警察・ReportCyber 等への届出、証拠保存、家族・勤務先への相談を行う。

## 4 交通事故死亡件数や防止対策

(1) BITRE/National Road Safety Data Hub の統計によれば、2026 年 1~5 月のビクトリア州の交通死亡者数は 109 人（前年同期 133 人、18%減）、同期の南オーストラリア州の交通死亡者数は 47 人（全同期 35 人、34%増）、同期のタスマニア州の交通死亡者数は 11 人（同期 21 人、47%減）です。

(2) 冬期は雨、霧、山間部での凍結、日没の早まりが運転環境に影響しますので、地方部、山間部、スキー場方面、郊外の高速道路を運転する場合には、無理な日程は避け、天候、休憩、燃料・防寒具、通信手段、帰宅時間を事前に確認することが重要です。

(3) ルールを守って適切な運転をすることはもちろんのこと、夜間運転する際には周囲を走る車に一定の割合で事故要因となる悪質運転手がいるという認識を持ち、適切な車間距

離を保つ、制御できない速度や急ブレーキはさける、事故をもらわない運転を徹底して下さい。

## **5 テロ・爆弾事件発生状況**

(1) ビクトリア州、南オーストラリア州及びタスマニア州ではテロの発生はないが、2025年12月にニューサウスウェールズ州シドニー市東部にある観光地ボンダイビーチでユダヤ教の祭典「ハヌカ」を標的としたテロ事件が発生し15名が犠牲となっています。

(2) 豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、2024年8月に全体で5段階のうち下から3番目の「蓋然性がある (PROBABLE)」に引き上げられており、当地におけるテロの潜在的脅威は存在しています。

## **6 誘拐・脅迫事件発生状況**

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

## **7 日本企業の安全に関わる諸問題**

特段注意を要する動向は認知していない。

(了)